



週間情報



No.2937

発行日 平成29年9月26日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

両会の動き

◆ 平成29年度第3回全国消防救助技術大会研究会を開催

一般財団法人全国消防協会

全国消防救助技術大会は、昭和47年の第1回大会以来、46回の大会を通して消防救助技術の向上に大きく寄与し、現在、国内外で活躍する救助活動の基礎になっています。

当協会では、平成18年に、全国消防救助技術大会が災害状況の変化、消防需要等に即応するよう全国消防救助技術大会の内容を研究、検討する全国消防救助技術大会研究会を設置し、4年間を基本単位とした定期的な検証を行う体制を整えました。

今春以降、同研究会において、過去4年間の大会の検証をはじめ、課題の抽出、課題に対する解決策等について検討を進めており、去る平成29年9月22日（金）に、最終的な意見のとりまとめとして、第3回全国消防救助技術大会研究会を開催しました。

今後は、10月にさいたま市で開催される当協会理事会において検討結果を報告することとしています。



【研究会の様子】

◆ マイカー購入サポート制度のご案内

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、賛助会員の中から、会員（消防職員）に有利な条件で物品を販売またはサービスを提供できる事業者を指定店として登録し、提供する物品またはサービスの詳細をチラシ等で会員（消防職員）に適宜ご案内する「指定店制度」を平成29年4月より導入しています。

この度、損害保険ジャパン日本興亜株式会社と東京海上日動火災保険株式会社が指定店として登録され、「マイカー購入サポート制度」を10月1日よりスタートすることになりました。

本制度は、会員（消防職員）の皆様が自動車購入をご検討の際に、有利な条件を提示可能な信頼のできる最寄りの自動車販売店（ディーラー）を紹介する制度です。詳細につきましては下記のご案内をご覧ください、本制度の利用を希望される場合は、記載の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

業務課

担当：河野、石井（健）

電話：03-3234-1321

メール：zaimu-5@fcj.gr.jp

マイカー購入サポート制度のご案内

会員（消防職員）の皆様が、車の購入を検討の際に、
幅広いネットワークをもつ損害保険会社と連携の上、
マイカーを購入するためのサポートを提供します。

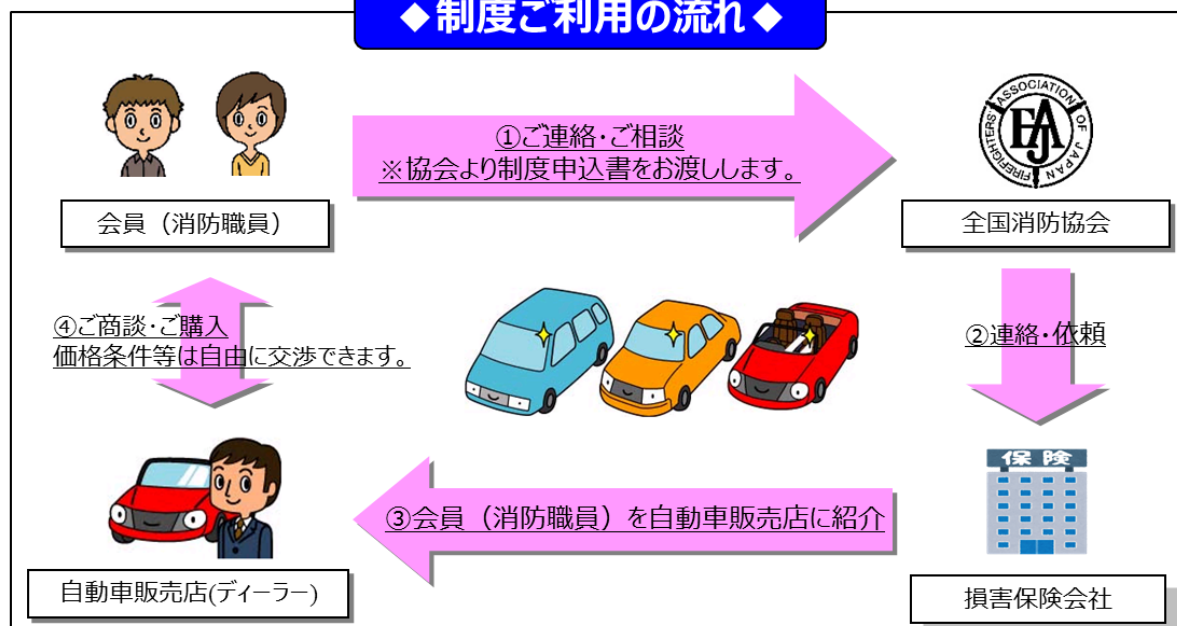
新車も中古車もほぼ全てのメーカーで対応可能です！

どんな制度なんですか？

- ご希望の車種等に合わせて、信頼の出来る自動車販売店（ディーラー）を紹介する制度です。
- 『ほぼ全てのメーカー系列（国産・外車）』、『新車』・『中古車』でご利用できます。
- パンフレット・見積書のお届けも可能です。
（同一車種についての複数見積もりはご遠慮ください。）
- 価格条件等の交渉、商談が折り合わない場合のお断りは自由です。
- ディーラーへご訪問する前にご連絡ください。
（ご訪問されている場合は、本制度をご利用いただけない場合があります。）



◆制度ご利用の流れ◆



<本制度をご利用いただく上での注意事項>

ご連絡いただく情報は、損害保険会社が車の購入に関するサポートまたは自動車保険に関するアドバイスを利用します。また、紹介する自動車販売店および自動車メーカーに上記目的のため提供します。

<連絡先>

一般財団法人全国消防協会

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル5F

業務課 石井 健一

TEL:03-3234-1321 メール:zaimu-5@fcaj.gr.jp

消防本部の動き

行事

◆ 救急フェアを開催

大東四條畷消防本部（大阪）

大東四條畷消防本部では、平成29年9月3日（日）、イオンモール四條畷において、「救急の日」及び「救急医療週間」の活動の一環として、大東・四條畷医師会協賛による救急フェアを開催しました。

当日は多くの方に来場いただき、心肺蘇生法やAEDの操作体験を通じて、応急手当の重要性を認識していただきました。また、救急車及びミニ消防車の展示による写真撮影も同時に行い、子ども達にも喜んでいただくことができ、大盛況のうちに終了することができました。



【フェアの様子】

◆ 名古屋市消防局広報アンバサダー（大使）就任式を実施

名古屋市消防局（愛知）

名古屋市消防局では、平成29年9月7日（木）、オアシス21において、救急車適正利用キャンペーンに併せて名古屋市消防局広報アンバサダーの就任式を実施しました。

就任したのは、名古屋市を拠点に活躍する女性6人組ユニット「おとめボタン」で、名古屋市消防長から認定証が交付されると、メンバーを代表して小西麗菜さんが、高らかに就任宣言を行いました。

今後、火災予防や救急に関する普及啓発など、消防局の広報活動に積極的に取り組んでいただきます。また、名古屋市消防局では、現在SNSによる広報にも力を入れており、今回の就任式についても掲載していますので、ぜひご覧ください。



【就任式の様子】

◆ 救急フェアを開催

加古川市消防本部（兵庫）

加古川市消防本部では、平成29年9月9日（土）、応急手当に対する市民の理解を深めるとともに、救急車の適正利用を呼び掛けるため、市内の大型商業施設ニッケパークタウンにおいて、救急フェアを開催しました。

市マスコット「ウェルピー」が出迎えるなか、多くの市民が来場し、胸骨圧迫やAEDの応急手当の実技や119番通報などを体験するとともに、なりきり記念撮影会場では、子どもから大人まで救急隊員になりきりました。

参加した市民からは、「救急について楽しく学ぶことができた。」との声が寄せられました。



【フェアの様子】

◆ 救急フェアを開催

峡北広域行政事務組合消防本部（山梨）

峡北広域行政事務組合消防本部では、救急医療週間の行事の一環として平成29年9月9日（土）、管内の大型ショッピングセンターラザウォーク甲斐双葉において、「救急フェア」を開催しました。

このイベントは、ショッピングセンターを訪れる市民の方に対し、心肺蘇生法の実技体験を通じ、応急手当の重要性について理解と認識を深めてもらうことを目的に開催しました。

当日は、ショッピングセンターを訪れた多くの方々や従業員の方々にも参加していただき、心肺蘇生法の実技等を体験していただきました。

また、会場にのぼり旗、ポスターを掲示し、救急車の適正利用や住宅用火災警報器の普及啓発を呼び掛けました。



【フェアの様子】

◆ 始球式で「救急の日」をPR

西宮市消防局（兵庫）

西宮市消防局鳴尾消防署では、平成29年9月9日（土）、阪神タイガースの本拠地である阪神甲子園球場でのプロ野球公式戦の始球式（ファーストピッチセレモニー）で、登板の機会を得ました。

始球式では、4万人の大観衆を前に西宮市消防マスコット「ウーちゃん」「カンちゃん」と、西宮市観光キャラクターの「みやたん」が対決し、あわせて「救急車の適正利用」や「応急手当の必要性」を呼び掛けました。ピーポーサイレンを合図に投じたボールはしっかりとキャッチャーミットに収まり、拍手に包まれました。



【始球式の様子】

◆ 救急イベントを開催

枚方寝屋川消防組合消防本部（大阪）

枚方寝屋川消防組合消防本部では、平成29年9月9日（土）、商業施設であるビバモール寝屋川において、救急の日のイベントを開催しました。

このイベントでは、救急医療や救急業務に対して市民の皆様にも更なる認識を深めていただくことを目的として、「救急安心センターおおさか」の普及啓発並びに胸骨圧迫を中心とした蘇生手技の実演及び希望する方々への体験指導を実施しました。

また、消防職員や消防団員による買い物客への広報グッズの配布や子ども達と当消防組合のイメージキャラクターの「消太・消子」との写真撮影などにより、救急について広くPRを行いました。



【イベントの様子】

◆ 「消防フェスタ119」を開催

新潟市消防局（新潟）

新潟市消防局では、平成29年9月10日（日）、「消防フェスタ119」を開催しました。

昨年に続き2回目の開催となる本イベントは、晴天に恵まれ約4,500名の来場がありました。

当日は、屋上ヘリポート見学、庁舎見学ツアー、消防音楽隊ミニコンサートなどの催しのほかに、初期消火体験、放水体験等の各種体験コーナー、子ども用救助服試着、車両展示、子ども工作室などを実施し、どのブースも大盛況に終わりました。

参加者には、楽しみながら消防への理解を深めていただくことができました。



【イベントの様子】

◆ はたらく消防の写生会表彰式で親子応急救護体験会を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁麻布消防署では、平成29年9月10日（日）、テレビ朝日本社1階アトリウムにおいて、第67回はたらく消防の写生会表彰式を実施しました。

昨年までは各小学校に署員が出向き表彰式を実施していましたが、今年は受賞者を一か所の会場に集めて表彰式を実施しました。

当日は、写生会入賞児童32名と保護者等家族85名が参加し、麻布消防団長はじめ各小学校の校長先生ほか多数の来賓の皆様や家族の見守るなか、受賞者は一人ずつステージ上で宮野収署長から賞状を受け取りました。

表彰式終了後は、救急医療週間イベント「親子応急救護体験会」に受賞者・家族全員が参加し、救急隊員が講師となってAEDの取り扱い方法や三角巾を使った包帯法を学びました。参加した保護者からは、「大きな会場で表彰していただいて、良い記念になりました。子どもの励みにもなります。AED取り扱いや包帯法は機会があればやってみたいとずっと思っていたので、良かったです。」と話していました。



【表彰式の様子】



【応急救護体験会の様子】

◆ 全国初の巨大防災紙芝居「くまくんの森たんけん」完成披露会を開催

神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局長田消防署では、平成29年9月12日（火）、神戸市防災コミュニティセンターにおいて、地域の就学前の園児や関係者を招待し、巨大防災紙芝居「くまくんの森たんけん」の完成披露会を開催しました。

この紙芝居は、神戸市長田防火安全協会の支援を受け、当署の防災教育の取り組みに共感いただいた神戸市在住のイラストレーター有村綾氏や、巨大紙芝居を製作している株式会社ワールドライブラリーの協力を得て、1年以上の製作期間を経てようやく完成したものです。

署員が考えたオリジナルストーリーですが、子ども達の日常に起こりがちな事故をテーマに、子どもも大人も一緒に楽しみながら「防災」や「共助」の心を学べる作品に仕上がりました。

花火が燃え移った動物や、自転車に挟まれた動物を助ける「くまくん」。仲間と共に動物たちを助ける様子に、園児たちは真剣な表情や笑顔を見せてくれました。

今後も、子ども達が「命」を大切に考え、「防災」の心を育むことができるよう取り組みを進めていきます。



【披露会の様子】

◆ 温泉宿泊施設で消防活動訓練を実施**今治市消防本部（愛媛）**

今治市消防本部西消防署では、平成29年9月4日（月）から6日（水）までの3日間、鈍川温泉地域において、当温泉組合の協力のもと消防活動訓練を実施しました。

この訓練は、9月30日（土）から第72回国民体育大会が、また10月28日（土）から第17回全国障害者スポーツ大会が愛媛県各地で開催されることに伴い、当地域でも多数の宿泊客が予想されることから、万が一の有事に備えて実施したものです。

訓練では、西消防署に勤務（3部制）する全職員が、宿泊客等に対して親切丁寧な救出・救護や避難誘導を行うとともに、消防ポンプ車やはしご車の部署、建物への着梯位置等を確認しました。訓練を通じて各隊員のスキルアップが図られたことはもちろんのこと、各宿泊施設の支配人等と災害時の行動要領等について率直な意見交換を行うことで、消防と施設管理者との連携をさらに深めることができました。

今後も日々の連携訓練を重ね、安全・確実・迅速な消防活動が実施できるよう努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 警防審査会を実施**とかち広域消防局（北海道）**

とかち広域消防局帯広消防署では、平成29年9月5日（火）及び6日（水）、帯広市緑ヶ丘公園多目的広場において、平成29年度警防審査会を実施しました。

この審査会は、経験年数の浅い職員の増加に伴い、競技形式の火災防ぎょ訓練を通じて、隊員個々の活動能力及び隊員間の連携活動の向上を図ることを目的に実施しています。

1小隊4人で16小隊が参加し、指揮命令、放水及びホース延長のほか、資機材の取り扱いや機関操作等、日頃の訓練成果を披露し技術を競い合いました。

当消防署では今後もこのような訓練を継続し、消防活動技術の向上に努めてまいります。



【審査会の様子】

◆ 「第6回大阪880万人訓練」にあわせて地震対応訓練を実施

堺市消防局（大阪）

堺市消防局では、平成29年9月5日（火）、大阪府内で一斉に行われた「第6回大阪880万人訓練」にあわせて、震災対応の初動措置訓練を実施しました。

各課、各署において、11時に訓練開始の防災スピーカーが流れると、まず各個人が身を守り、その後は堺市地震災害消防活動計画に定めるそれぞれの任務分担に従い庁舎、車両、通信、人員等の状況確認、情報の整理及び報告を行いました。

訓練終了後には検討会を行い、いつ起こるか分からない震災に備える良い機会となりました。



【訓練の様子】



【検討会の様子】

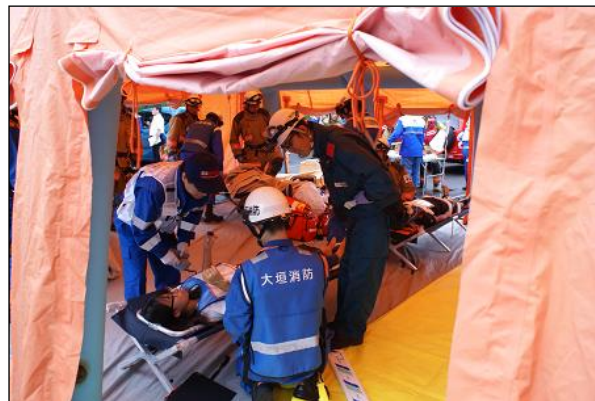
◆ 高速道路における多数傷病者災害対応訓練を実施

大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合消防本部では、平成29年9月6日（水）、大垣市内の浅中公園総合グラウンド駐車場において、中日本高速道路、警察本部高速道路交通警察隊、DMAT（大垣市民病院・大垣徳洲会病院）及び名阪近鉄バスとの合同による多数傷病者災害対応訓練を実施しました。

訓練は、名神高速道路での多重衝突事故の発生時における関係機関との連携強化、多数傷病者災害対応の知識・技術等の向上を図ることを目的に、高速道路上での観光バスと大型トラックの追突事故を想定し、人命救助、救出救護などの多数傷病者対応を実施しました。

各機関が相互に連携して活動することにより、傷病者を安全・迅速に救出できることを確認し体制の強化を図ることができました。



【訓練の様子】

◆ 特殊災害対応訓練を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、平成29年9月8日（金）、松山中央公園において特殊災害対応訓練を実施しました。

訓練は、えひめ国体の野球競技中に坊っちゃんスタジアムと競技関係者バスに化学剤が散布され、複数名の来場者が気分不良を訴えているという想定で行いました。愛媛県警察本部、陸上自衛隊松山駐屯地、愛媛県立中央病院など計10機関約220名が参加し、特殊災害への対応力強化を図りました。また、今回は市内大学の看護学部生徒にも参加していただき、災害医療について理解を深めていただきました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会など大規模イベントの開催を控え、地方においても大規模テロ災害への対応力強化が求められていますので、今後も関係機関との連携強化を図るべく取り組んでいきます。



【訓練の様子】

研修等

◆ 救急講習会を開催

長野市消防局（長野）

長野市消防局鶴賀消防署では、平成29年9月7日（木）、管内の老人福祉施設や中心市街地にある大規模な商業施設、宿泊施設の職員を対象に、救急講習会を開催しました。

今回は、心肺蘇生法の習得を目的とした救急講習とは趣を変え、年々救急要請が増加する施設等に参加を呼び掛けました。講習会では、傷病者の観察・通報要領、119通報の判断基準の提示、また救急要請時から病院到着までの消防側の活動フローについて知っていただきました。

今後、要請者側と救急隊の連携がより円滑になり、スムーズな救急活動や、救急車の適正利用につながる一助になればと願っています。



【講習会の様子】

◆ 消防防災協力事業所合同研修会を開催

豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、平成29年9月7日（木）、当市消防局5階訓練場において、平成29年度消防防災協力事業所合同研修会を開催しました。

消防防災協力事業所は、大規模災害が発生した場合に地域貢献活動として自主的に消火及び人命救助等の災害活動を行うことを目的に登録された民間の事業所です。

この研修会は、防災対応力の向上を目的として定期的実施しているもので、今年で11回目の開催となります。今回は、56の事業所から86名が参加し、普通救命講習を受講した後、災害に対する備えを映像中心の講義において学び、防災知識を一層高めました。

参加者は、災害時の活動に備えて真剣に取り組まれていました。



【研修会の様子】

そ の 他

◆ 消防本部の住所変更について

○ 73705 三原市消防本部（広島）

新住所 〒723-0051 三原市宮浦一丁目22番2号

※理由 新庁舎移転のため

平成29年9月25日から運用開始

国等の動き

報道発表

◆ 平成29年度緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練の実施（9月22日、消防庁）

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災を教訓に平成7年6月に創設され、これまで東日本大震災や本年7月の九州北部豪雨など、34の災害に出動し、国民の安全・安心に貢献してきたところです。

消防庁では、緊急消防援助隊の消火・救助技術や指揮・連携活動能力等の向上を図ることを目的として、平成8年度以降、毎年、全国を6ブロックに分けてブロック単位で地域ブロック合同訓練を実施しています。

平成29年度は、10月～11月の間に、全国6箇所で開催します。

1 実施日

ブロック	実施日	実施場所（メイン会場）
北海道東北	10月6日（金）～7日（土）	山形県米沢市
関東	10月24日（火）～25日（水）	群馬県太田市
中部	11月17日（金）～18日（土）	岐阜県中津川市
近畿	11月4日（土）～5日（日）	大阪府堺市・大阪市
中国・四国	10月20日（金）～21日（土）	島根県安来市
九州	11月11日（土）～12日（日）	佐賀県武雄市

2 地域ブロック合同訓練の概要 (以下省略)

- 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/09/290922_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

国民保護・防災部 防災課 広域応援室

担当：明田補佐、望月係長、北村事務官、仲田事務官

◆ 「第23回全国女性消防操法大会」の開催（9月22日、消防庁）

女性消防団員等の女性消防隊員の消防技術向上と士気の高揚を図り、もって地域における消防活動の充実に寄与することを目的として、日頃の訓練により培った消防操法技術を競い合う全国女性消防操法大会を秋田市で開催します。全国女性消防操法大会は、昭和60年に第1回大会を開催し、平成9年以降は2年ごとに開催しており、今大会で23回目となります。

1 開催日時及び場所

日時：平成29年9月30日（土） 雨天決行

9時00分～14時40分（予定）

場所：向浜運動広場駐車場（こまちスタジアム駐車場）

（秋田市新屋町字砂奴寄4-6）

2 内容（別添1（省略）参照）

- (1) 開会式
- (2) 消防操法
- (3) アトラクション
- (4) 表彰式
- (5) 閉会式

3 出場隊（別添2（省略）参照）

47都道府県の代表として47隊が出場します。

4 参加人員

約3,800名

5 主催及び協力

主催：消防庁、（公財）日本消防協会

協力：秋田県、秋田市、（一財）秋田県消防協会、秋田県消防長会

- 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/09/290922_houdou_2.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

国民保護・防災部 地域防災室 消防団係

担当：伊勢村対策官、佐久間係長、相田事務官

◆ 2018年度「全国統一防火標語」の募集について

消防庁

消防庁では、家庭や職場・地域における防火意識の高揚を図ることを目的として、9月15日(金)から一般社団法人日本損害保険協会と共催で2018年度の「全国統一防火標語」を募集しています。

入選作品は、消防庁の後援により同協会が制作する約20万枚の防火ポスターに採用し、当該ポスターは全国の消防署をはじめとする公共機関等に掲示されるほか、防火意識の啓発・PR等に活用されます。

1966年度の募集から数えて、今回で53回目を迎えます。毎年多数の応募があり、2017年度の募集では全国から19,137点の作品が寄せられました。

消防庁の統計によると、2016年中の火災発生件数は36,831件(前年比△2,280件)、総死者数は1,452人(前年比△111人)と、前年と比べて減少したものの、依然として多くの被害・犠牲者が出ています。また、火災発生件数を出火原因別にみると、たばこ・こんろ・たき火などの火の不始末など、日常生活での不注意が招いた火災が上位を占めています。

火災の恐ろしさ、防火の大切さ、防火のポイントや手法などを簡潔に表現した斬新な作品をお待ちしています。

【募集期間】

2017年9月15日(金)から11月30日(木)

【応募方法】

パソコン・スマートフォン(一般社団法人日本損害保険協会ホームページ)から応募

応募先 URL : <https://boukahyougo.jp/>

【発表】

2018年3月下旬に、一般社団法人日本損害保険協会ホームページで、入選・佳作作品および入選・佳作入賞者を発表

※詳細は、募集要項(<https://boukahyougo.jp/>)をご覧ください。



2017年度防火ポスターモデル
清原 果耶さん

※ 消防庁各課室の直通電話番号は(<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>)に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcj.gr.jp